



東京で学ぶ 京大の知シリーズ 33

京都大学の 女性リーダーたち

【主催】 京都大学
【講演時間】 各回 18:30~20:00
【参加料】 無料

わが国では平成27年に女性活躍推進法が施行され、女性がより活躍できる社会を目指しており、京都大学においても総長が掲げる「WINDOW構想」の最後のWに「Woman and the World」が当てられているように、女性リーダーの育成を推進しています。多様で活気のある教育研究環境の実現と優秀な人材の確保を目指して女性教員を増加させる方策に全学を挙げて取り組んでいますが、今回シリーズでは、そんな京都大学で先駆的なリーダーとしても活躍中の女性研究者が大学を飛び出し、各分野における最新の研究をみなさまにご紹介します。

※「東京で学ぶ 京大の知」は今回シリーズをもって終了させていただき、今後は東京に限らず他都市を巡回して実施していくこととなりました。長年のご支援ありがとうございました。



第1回
11月5日(火)
稲垣 恭子
教育学研究科
研究科長/教授



第2回
11月11日(月)
村山 美穂
野生動物研究センター
センター長/教授



第3回
11月18日(月)
速水 洋子
東南アジア地域研究研究所
所長/教授



第4回
11月25日(月)
稲葉 カヨ
京都大学
理事

師弟関係という文化

〈教える-学ぶ〉関係は、教育の営みの中核であり、そのありかたは、学校だけでなく、社会一般に浸透する教育を支える重要な文化の一部です。今回は、このような広い意味での〈教える-学ぶ〉関係の原型として「師弟関係」を取り上げ、その多様なありかたや機能を見ていくことによって、教育関係の古くて新しい問題を考えてみたいと思います。

野生動物保全ラボの挑戦

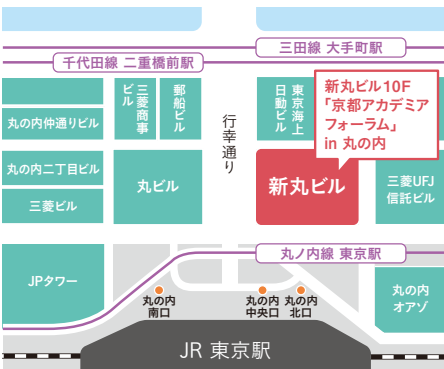
多くの野生動物が絶滅の危機に瀕しています。絶滅を防ぐには、動物について知る必要があります。行動観察が難しい場合も、フンや羽根に含まれるDNAから、動物についての情報を知ることができます。私たちは、さまざまな動物のDNAや細胞を保存して、遺伝的多様性や血縁関係や個性といった、絶滅を防ぐための情報を集めています。これまでの研究の成果をご紹介します。

タイで生きる・老いる・ケアすること -フィールドワークから考える

私が長年フィールドとしてきたタイでも高齢化が進みつつありますが、日本からみれば高齢化後発社会です。実際、タイでは日本を参考に対策を考えつつあります。しかし、タイではケアが社会に埋め込まれているという見方もできます。私たちにとってタイの老いやケアについて学びうるものがあるのではないのでしょうか?このことを皆様と共に考えてみたいと思います。

免疫のしくみ -生体の恒常性維持-

最近、「免疫力」という言葉をよく耳にするようになってきました。「免疫力」とは、細菌やウイルスなどの侵入した異物や体内に発生したガン細胞などから身を守る事、言い換えると生体の防御と修復・再生、即ち恒常性の維持力です。本講演では免疫応答は、どのようにして誘導されるのか、また自己を攻撃しないようにどのように制御されているのかについて概説します。



開催場所

「京都アカデミアフォーラム」in 丸の内

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

問い合わせ先

京都大学総務部渉外課 京都市左京区吉田本町 国際科学イノベーション棟3階

TEL) 075-753-2031 (月~金 9:00~17:00) FAX) 075-753-2286 E-mail) event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

URL) http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/open_course/kyoudainochi

申し込み方法 [お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込みください。各回定員120名、締め切りは**10月16日(水)**です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、申し込み多数の場合は、抽選となります。詳しくはホームページをご覧ください。

! スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から右記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。

